

白井市第 5 次総合計画 (2016～2025)

【趣旨】

白井市は長期的展望を持つ計画的かつ効率的な行政運営の指針として「白井市第 4 次総合計画（平成 18 年度～平成 27 年度）」を策定し、将来像である「市民と築く安心して健康なまち しろい」を実現するため、各種施策を推進してきました。

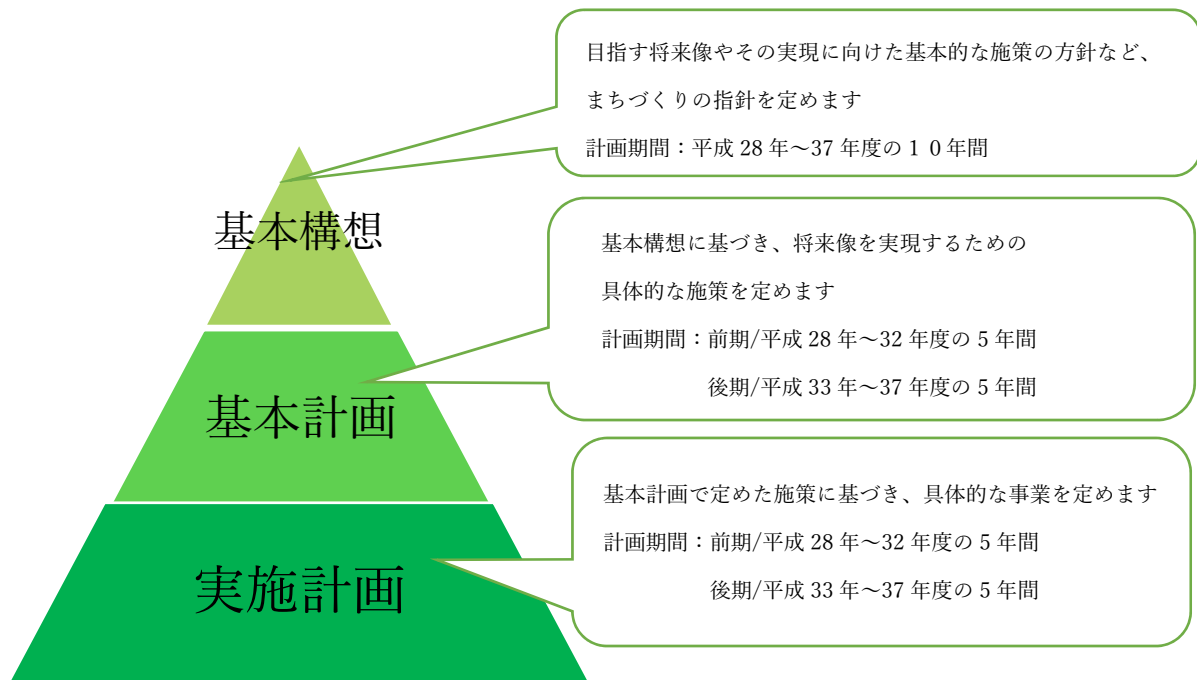
この間、人口減少社会の到来、少子化・高齢化の一層の推進、地球環境問題の顕在化、高度情報化社会の進展など、白井市を取り巻く社会経済環境は変化しています。

これらの社会経済環境の変化を的確に捉え、長期的展望に立って、市民と目指すべき方向性を共有しながら、ともに持続可能なまちづくりを進める新たな指針として「白井市第 5 次総合計画」を策定しています。

【総合計画の位置づけ】

総合計画は、白井市の行政運営を総合的かつ計画的に推進していくための最上位に位置する計画であり、長期的なまちづくりの方向性を示し、市民と連携しながらまちづくりを推進するための指針となるものです。

また、行政における各分野には、様々な個別計画がありますが、これらの個別計画は総合計画の基本的方向性に沿って策定し、推進していくものです。



●基本構想におけるまちづくりの3つ重点戦略

【戦略1 若い世代定住プロジェクト】

快適生活空間の創出、子育てを安心して楽しめる環境づくり、質の高い教育環境づくり、活躍の場づくりなど、単身世帯・子育て世代など若い世代の定住を促進するまちづくりを進めます。

- 工業団地などにおける市民雇用拡大
- 異業種・異分野間のネットワークづくりによる交流・連携の支援
- 起業希望者に対する支援のしくみづくりや起業を意識した学習機会の提供

【戦略2 みどり活用プロジェクト】

環境保全の取り組み、みどりを活かした憩いの場づくり、みどりとしての農地の保全、農の営みを活かした風景づくり、農産物の地産地消や加工等による高付加価値化の取り組みなど、まちのみどりを活かしたまちづくりを進めます。

- 多様な形態の農業経営と担い手の支援
- 農商工の連携による、農産物の高付加価値化やブランド化
- 駅周辺や地域における農産物の販売の場づくり
- だれもが農業体験できるプログラムの実施や農に親しめる環境づくり

【戦略3 拠点創造プロジェクト】

駅前や市役所周辺の都市拠点づくり、サロンなど目的に応じて人が集まる場や空間づくり、市内外の人が交流する拠点づくり、交通弱者でも移動しやすい環境づくりなど、様々な拠点があるまちづくりを進めます。

- 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり

●重点戦略における産業振興に係る重点戦略事業実施計画

【農業分野】

- ①集落営農の組織化等支援事業（戦略２）
- ②育苗センター事業（戦略２）
- ③市民農業大学事業（戦略２）
- ④援農ボランティア育成・活用事業（戦略２）
- ④農産物ブランド化推進事業（戦略２）
- ⑤農産物販売拠点機能強化事業（戦略２）
- ⑥農産物流通拡大事業（戦略２）
- ⑦市民農園・体験型農園開設支援事業（戦略２）

【商業分野】

- ①雇用・労働支援事業（戦略１）
- ②創業支援事業（戦略１）
- ③フェスティバル開催事業（戦略３）

【工業分野】

- ①白井工業団地ＰＲ事業（戦略１）
- ②異業種・異分野間交流・連携事業（戦略１）